

国への要望活動・東日本大震災復興視察報告

平成25年10月29-30日



被災者の雇用の場ともなっている被災ごみの分別作業



災害廃棄物等の処理「分別・破碎→再生資材」



大津波による壊滅的な被害

あの日を忘れず
ともに未来へ

宮城県東松島市

東日本大震災の対応と復旧・復興状況について東松島市を視察してきました。
幸いにして大木町は、土石流災害と津波災害は想定されていませんが、地域防災計画改訂に伴い、想定地震の震度は6弱（視察した東松島市は震度6強）になっています。また、台風の大規模化や局地的多発する竜巻、ゲリラ豪雨など大木町も災害のない町とはいえません。視察を踏まえ、大木町の地域防災計画・水防計画の改訂にも反映していきます。



環境省での要望状況



農林水産省での要望状況

大木町の願い とどけ
中央官庁へ
平成25年10月29日

環境省浄化槽推進室等への要望内容

- 合併処理浄化槽の完全普及への支援
- 環境省外来生物対策室等への要望内容
- 特定外来種である水草、ミシシッピアカミミガメ(ミドリガメ)駆除への支援

農林水産省農村整備部等への要望内容

- 集落内水路護岸整備への支援および浚渫泥土リサイクルへの支援

ミドリガメ駆除に国が動く
1月9日読売新聞夕刊によると、特定外来生物に指定することとしたと報じている。要望活動がどの程度効果があったのかは不明だが、大木町議会の活動は、評価してよさそうである。

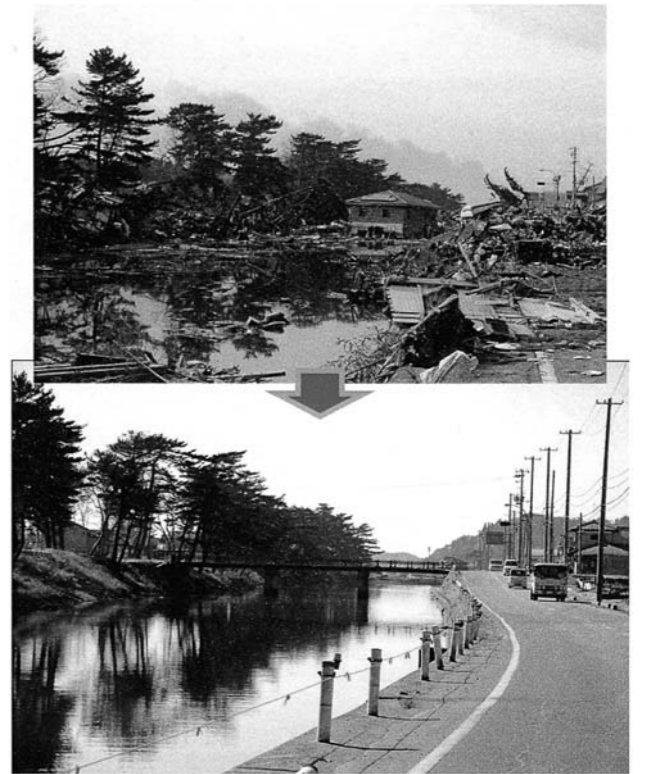


現地視察のようす

要望活動のその後
再生への第一歩、きれいな堀と田園風景
国への要望活動が功を奏して、国と県が現状確認のために大木町の集落排水(堀)の現地視察が実現した。
町単独では早期の集落排水(堀)再生は困難であることから、国や県の支援が望まれている。



瓦礫処理・被災家屋の解体(分別解体・分別収集)



東名地区 多くの住宅が撤去された



東名地区 行方不明者を捜索する消防団員

2011.3.11東日本大震災 東松島市の被害と復旧状況(平成25年4月1日現在)